

「レクイエム・プロジェクト」来月5日広島公演

平和や命の大切さ 合唱 被爆者作詞 新曲を初演



上田由美子さん



上田益さん

戦争や自然災害の犠牲者追悼と平和への願いを合唱に込める「レクイエム・プロジェクト」の広島公演が3月5日、広島市中区の広島県民文化センターである。今回、被爆者の詩人上田由美子さん(79)と安佐北区IIが作詞し、プロジェクトを主宰する作曲家上田益さん(60)と東京IIが曲を付けた「生きとし生けるものへ」を初演。広島や長崎の市民約100人が平和や命の尊さを歌う。

同プロジェクトは2008年、「神戸ルミナリエ」の音楽を担当する益さんが発案し、阪神大震災の被災地神戸で始まった。以後、広島や長崎、仙台など10カ所に活動を展開し、被災地の詩人と益さんが書き下ろした作品を市民が合唱している。

「命の大切さや人間愛を表現した」と由美子さん。益さんは「心の奥底に迫る歌。それぞれの会場で、その地の苦難や歴史に思いをはせるきっかけになれば」と話す。

午後2時開演。1500円(前売り千円)。高校生以下無料。☎080(5181)6692。(余村泰樹)

新曲は「広島や長崎とい